

北海道函館中部高等学校

課程 定時制
学科 普通科
生徒数 158名

1 取組の特徴

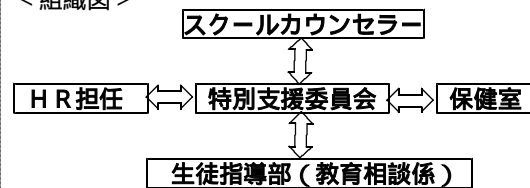
低学年（1，2年生）で人とつながれる力をつくり、3・4年生で社会とつながれる力をつくる。並行して基礎学力も身につけ、自信を持ち進路を開拓する生徒を育てる。

2 取組のねらい

低学年（1，2年生）の段階で人との付き合い方を学び、コミュニケーション能力を育成するとともに、クラス中での居場所を確保する。そのために、グループエンカウンター時間を1年生、2年生の順に多く配当するほか、3・4年生には卒業後の進路決定を意識したソーシャルスキルトレーニングを中心に行う。

個別カウンセリングにおいては、個々の生徒に応じた、スクールカウンセラーによる専門的なアドバイスと支援を提供する。

<組織図>



3 取組の経過

年度当初

4人のスクールカウンセラーに依頼し、グループエンカウンター40時間、個別カウンセリング80時間を計画した。

年度前半

初めての取組のため、計画通り進められるか不安があったが、実践を重ねるごとに成果が表れ、不安は払拭されていった。

年度後半

10月頃から、本校生徒に必要な指導や支援が新たに明確化してきた。

年度末

計画通りに進めることができ、多くの先生のサポートにより生徒へ良い影響が見られたため、取組改善のアイデアが出されるなど、次年度につながる雰囲気作りが醸成された。

4 取組の内容

コミュニケーションスキル（特に質の向上）の育成を図るため、次の取組を行った。

1 個別カウンセリング

- (1) 実施時間 授業前（15：30～17：20）と授業後（20：00～21：30）
- (2) カウンセラー 2名で対応（授業前 1名、授業後 1名）
- (3) 相談内容 家庭生活、学校生活、友人関係、進路、体調、アルバイト などの相談
アサーショントレーニング
相談生徒に関してHR担任・養護教諭との情報交換、教頭への報告

2 SGE (グループエンカウンター)

(1) 実施時間：総合的な学習の時間やLHR

(2) カウンセラー：2名

(3) 実施内容

6月 【1年】時間半分トーク、他己紹介

7月 【全学年】「ほっと」1回目実施(集計後SCに分析依頼)

【1年】ハガキコラージュ作成

8月 【1年】電話でSOS+問題解決、【3年】人の話の聴き方

9月 【3年】上手な伝え方(その1) 【4年】人の話の聴き方～就職活動を意識して

10月 【1年】共同コラージュの作成・鑑賞、【2年】宿泊研修～時間半分トーク

【3年】上手な伝え方(その2)

11月 【1年】同じところ・違うところ探し、新聞紙タワー

【2年】電話でSOS+問題解決、【3年】上手な断り方

12月 【2年】新聞紙タワー、共同コラージュver.2

1月 【全学年】「ほっと」2回目実施(集計後SCに分析依頼) 【1年】人間コピー機

2月 【2年】人間コピー機



5 次年度に向けて

1 成果

(1) 中途退学者数及び不登校生徒数の推移

昨年度より、不登校生徒数は半減しており、中途退学者数は激減している。

(2) その他の指標による評価

昨年度より、保健室利用者数は減少しており、一人当たりの欠席日数は半減している。

成績優良者は増加しており、特に1学年で激増している。

(3) 子ども理解支援ツール「ほっと」実施により把握した生徒のコミュニケーションスキルの概況

【1学年】全体的には標準的な範囲にあるが、緊張がやや高い傾向にある。助言・注意する行動に向上が見られる。

次年度は、相手の良いところをほめながら人間関係を築くスキルを育成する取組を強化する。

【2学年】男子と女子で傾向に違いがある程度明確に見られ、特に、男子には思いやりのある行動やリーダーシップに大きな向上が見られた。全体的緊張がやや高い傾向が見られる。

次年度は、「仲間作り」のスキルに焦点を当てて取り組む。

【3学年】リーダーシップが高まった集団が形成されてきた。全体的には自律が低く、緊張が高い傾向にある。高校卒業後の進路に対応できるように、ソーシャルスキルトレーニングを中心に、自律を意識したトレーニングを行う。

【4学年】発言・説明のスキルが向上した。また、卒業年次ということもあり、自律的な行動ができる生徒が増えている。

(4) 生徒の変容の姿

・学年が進むにつれ、生徒の成長を確認できた。特に、卒業学年に近づくほど「自立と自律」を生徒自身が意識し、最終的には、卒業年次には「大人になる覚悟」を決めて大きな成長を遂げる者も多い。

・3学年においては、見学旅行前3回と後1回にグループエンカウンターを行うことで、個人差はあるものの自分を見つめる機会となり、落ちついた有意義な見学旅行となった。

2 課題

久しぶりに登校する冬休み明けに第2回目の「ほっと」を実施したため、全体的に「緊張」が高い結果となった可能性があることから、「ほっと」の実施時期の検討が必要である。

3 次年度に向けて

今年度の成果や課題を踏まえ、次年度は、1・2年生で「緊張感をほぐして、仲間を作るトレーニング」を中心に、3・4年生で進路に対応できる「ソーシャルスキルトレーニング」を中心に企画し、実施していきたい。